

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成23年11月16日		使用開始日			
登録診療科	血液内科		申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 23 年 11 月		
レジメン名	アザシチジン(点滴用)					
疾患名	骨髄異形成症候群 急性骨髄性白血病		適応の備考			
適応分類						
1コース日数	28	日間	総コース数	有効な限り	コース 催吐性リスク 中等度	
抗がん剤投与量・投与日 アザシチジン75mg/m ² day1-7						
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)						
投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	(day)	
1	主ルート	グラニセトロン注1mg/50mL	1 本 / body	30 分	● ● ● ● ● ● ●	
	点滴静注					
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body		● ● ● ● ● ● ●	
	点滴静注	アザシチジン注	75 mg / m ²	10 分	● ● ● ● ● ● ●	
		注射用水100mL	1 本 / body		● ● ● ● ● ● ●	
		1Vあたり10mLの注射用水で溶解後、生食50mLで希釈する				
		減量基準は下記参照				
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	● ● ● ● ● ● ●	
	点滴静注					

原則、皮下投与する。出血傾向等で皮下注が困難な場合は点滴静注も可能。

調製後、1時間以内に投与を終了すること。

配合禁忌:5%ブドウ糖液、ヘタスターチ(ヘスパンダーなど)及び重炭酸塩を含む溶液

【減量基準】

※血液学的検査値による投与量調節

1)治療開始前値がWBC数 $\geq 3000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $\geq 1500/\text{mm}^3$ 、血小板数 $\geq 75000/\text{mm}^3$ の全てを満たす患者の場合
《当該サイクルの最低値》

好中球数 $< 1000/\text{mm}^3$ または 血小板数 $< 50000/\text{mm}^3$

《次サイクルの治療開始の延期・減量基準》

①治療開始前値からの減少量の50%が回復した後、次サイクルを開始。

②14日以内に回復しない場合、次サイクル投与量を50%に減量。

2)治療開始前値がWBC数 $< 3000/\text{mm}^3$ 、好中球数 $< 1500/\text{mm}^3$ 、血小板数 $< 75000/\text{mm}^3$ のいずれかに該当する患者
《当該サイクルの最低値》

白血球数、好中球数または血小板数のいずれかが治療開始前値の50%以下に減少

《次サイクルの治療開始の延期・減量基準》

①治療開始前値からの減少量の50%が回復した後、次サイクルを開始。

②14日以内に回復しない場合、以下に従う。

ア. 骨髄細胞密度が50%を超えときは、次サイクルも100%量で継続

イ. 骨髄細胞密度が15～50%で、21日以内に回復しない場合、次サイクル投与量を50%量に減量する。

ウ. 骨髄細胞密度が15%未満で、21日以内に回復しない場合、次サイクル投与量を33%量に減量する。

※腎機能及び血清電解質による投与量調節

①当該サイクルの血清重炭酸塩が20mEq/L(静脈血)未満の場合は、次サイクル投与量を50%量を減量する。

②当該サイクルのBUNまたは血清クレアチニンが施設基準値上限を超え、治療開始前値の2倍以上に上昇した場合は、施設基準値または治療開始前値に回復した後、次サイクル投与量を50%量を減量する。